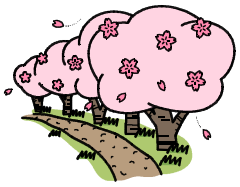
校長室通信

南小国町立南小国中学校
H31．4．26（金）No ２
文責　狭間卓史



越えていく

４月９日（火)、入学式の日の夕方に、本校「清流寮」の入寮式を行いました。

当日は岩切教育長はじめ南小国町教育委員会の方々にもご臨席いただいてのことでした。今年の入寮生は９人（内一人は三年生への転入生)。総勢２２人となりました。入寮式では男女の寮長が代表して歓迎の言葉を述べてくれました。それぞれに自分の言葉で堂々と挨拶するその姿は立派でした。

入寮生の保護者さんの中には清流寮の卒寮生の方もいらっしゃいます。寮での経験は学ぶことが多く、これからの貴重な財産になることは誰よりもご存じです。とはいえ、親元を離れなければならない（離さなければならない）経験の心細さは、生徒も保護者さんも一緒です。しかしながら、この寮には頼もしい上級生がいます。それぞれに一年前、二年前に心細さを経験し、乗り越えてきた寮生です。そしてやる気にあふれた寮舎監の左座もいます。優しい寮母さんもいます。さらには、時々ですが本校職員が副舎監として交替で対応しています。入寮生は、今、毎日を精一杯取り組んでいます。寮生や舎監、寮母さんが記す日誌には、日々の成長が克明に記されており、一日一日が学びの連続であることが伝わっていきます。週末に帰宅した際にはどうか、たくさんの話を聞いてやってください。

かかわり続ける

４月１２日（金)、小国町教育委員会の倉岡巧人権教育指導員の講話を聴くことができました。

倉岡指導員には就任以来、毎年、本校で人権についての話をしていただいています。この日も挨拶の大切さに始まり、自分を大切にし、他人も大切にする意識を持って生活することや、人権について日々学び続けることの大切さ等について教えていただきました。

講話終了後には生徒一人一人が感想を書き、倉岡指導員にお渡ししましたが、倉岡指導員はその一つ一つに丁寧に目を通してくださり、赤ペンでコメントを返してくださっています。

また、毎日、登校時の正門での挨拶に立ってくださる倉岡指導員は、本校生徒の表情やちょっとした仕草をていねいに見てくださり、言葉掛けを変えていらっしゃいます。朝の挨拶には、私も就任以来ご一緒させていただいていますが、倉岡指導員の関わり続ける姿勢に学ばせていただく日々です。

※熊日新聞をご購読のご家庭は４月２４日付け「読者の広場」欄をご参照ください。